

上田創造館 管理運営ビジョン



平成28年2月

上田地域広域連合

《 目 次 》

1	上田創造館管理運営ビジョンの策定	2
2	上田創造館の概要	2
	(1)上田創造館の設置	
	(2)施設概要	
3	上田創造館の現状及び実施事業	3
	(1)上田創造館の現状	
	(2)上田創造館の実施事業	
4	上田創造館管理運営ビジョン	5
5	管理運営ビジョンの個別計画	5

1 上田創造館管理運営ビジョンの策定

平成28年4月、上田創造館は30周年を迎えることとなります。この間、上田地域の文化創造・コミュニケーション活動の中核施設として多くの地域住民に親しまれ、御利用いただいております。

しかしながら、上田創造館に対する利用者ニーズの変化や、近隣の文化関連施設の新築・改修などにより、同施設を取り巻く環境は著しく変化しており、経年劣化による施設の老朽化が進む中、修繕等に係る諸経費も増加している状況となっております。

こうした背景を踏まえ、上田創造館の諮問機関である「上田創造館運営委員会」へ施設の設置及び管理運営について諮問を行ったところ、平成24年3月の答申において、「上田創造館の広域施設としての役割、あり方について長期的な視点をもって充分議論し、次期広域計画に反映すること」との要望をいただきました。

そこで、第4次上田地域広域連合広域計画（平成25年度から29年度）の策定にあたり、「計画的な修繕の実施や将来的な施設のあり方を明確化するため、長期的な管理運営ビジョンを策定する。」ことを明記しました。

このことを受け、平成26年7月に関係市町村や有識者で構成する「上田創造館管理運営ビジョン策定会議」を立ち上げ、慎重に審議を行い、この度、上田創造館の管理運営ビジョンを策定したものです。

今後、上田創造館の運営にあたり、新たに策定した管理運営ビジョンを指針とし、いままで以上に地域の皆様に愛され、親しまれる施設となりますよう、地域の中核施設としての役割を果たしてまいります。

2 上田創造館の概要

(1) 上田創造館の設置

昭和53年、上田市において「子ども科学館」建設に向け各方面と協議を進めていたおり、「文化公園整備事業」補助金(県)、「田園都市中核施設整備事業」補助金(国)が認められることとなりました。ただし、補助採択の条件として広域的施設としての位置付けが必要であることから、事業主体を上小広域とし「上田創造館」として建設が行われました。

上田地域住民の文化創造、コミュニケーション活動の中核施設として位置付けられ、複合的な機能を兼ね備えた「地域に開かれた広場」（リージョンプラザ）として昭和61年に開館しました。

(2) 施設概要

開館	1986年(昭和61年)4月1日
敷地面積	14,147㎡
建築面積	2,792.20㎡
延床面積	7,032.8㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階 塔屋3階
駐車場	150台
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	年末年始（12月29日～1月3日）他
施設内容	文化創造・コミュニケーション活動のための施設 （芸術・文化・教育・スポーツ・レクリエーション活動を行える複合施設）

3 上田創造館の現状及び実施事業

(1) 上田創造館の現状

文化センターをはじめ研修センター、体育館、美術館、民俗資料館、プラネタリウム、天体観測室、パソコン教室など多様なニーズに対応する施設と設備を備え、各種の社会教育関係団体や文化団体及び企業等に幅広く利用されています。また、小・中学校における理科（科学）教育を補完するための、教育的な施設として活用されています。

施設の管理運営については、開館当初から事業運営を行ってきた一般財団法人上田市地域振興事業団を指定管理者に指定しています。平成25年4月からは、指定管理業務を施設管理とソフト事業に分け、施設管理については、従来どおり指定管理者に、ソフト事業については上田地域広域連合で嘱託職員を雇用し、事業内容を検証しながら運営を行っています。

先述のとおり、経済情勢や地域住民のニーズの変化、近隣の関連施設の充実などにより、利用者数は減少傾向にあります。

ア 上田創造館来館者数

【人】

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
来館者数	201,626	203,285	196,097	176,981	173,229	168,200

イ 施設別利用者数

【人】

年度 施設名	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
文化センター	49,212	57,631	45,668	44,734	42,993	40,463
研修センター	11,184	9,596	10,468	10,671	11,253	10,115
体育館	27,940	26,998	26,963	24,343	21,124	20,992
民俗資料館	7,826	8,924	8,023	6,897	6,704	7,866
美術館	34,536	34,582	40,128	33,541	32,312	25,505
天体観測室	381	399	1,610	1,237	1,464	1,620
プラネタリウム	8,666	8,021	9,275	9,648	8,760	10,708
視聴覚センター	10,356	10,216	8,618	8,743	6,634	6,074
図書室	23,317	21,939	19,644	18,080	17,056	16,286
会議室・研修室	28,208	24,979	25,700	19,087	24,929	28,571

ウ 市町村別学校利用者数

【人】

年度 市町村	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
上田市	6,027	5,546	7,791	6,007	6,457	6,557
東御市	601	613	865	1,061	1,246	1,078
青木村	142	270	60	96	153	155
長和町	233	235	246	262	251	48
圏外	27	28	43	217	208	302
合計	7,030	6,692	9,005	7,643	8,315	8,140

(2)上田創造館の実施事業

上田創造館の各施設を活用した各種ソフト事業を下記の通り実施しています。

先述のとおり、平成25年度からソフト事業を上田地域広域連合が直接、運営をすることとしました。行政の直営化により、地域内小中学校との連絡を密に行い、地域内小学校ではほぼ全ての学校が授業で利用するようになっております。

今後に向け、高校や大学、幼保育園向けの新たな学習利用の方法を模索しています。

ア ソフト事業一覧

事業名称	内容	主な事業
科学館事業	学校学習支援事業（理科）、小中学生のための土曜日活用事業、天体観測、プラネタリウム観覧等 上田創造館のコンセプトと特殊な設備を活用したソフト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・週末の理科室 ・学習支援（太陽の観察、月、星の動き方、魚の解剖等） ・天文講演会 ・天体観測 ・星空観望会 ・プラネタリウム投映
文化振興事業	上小地域の伝統・伝承的民俗行事等の紹介や教育、文化活動を支援し、地域の芸術の発展に努める事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東信美術展、農民美術展等各種作品展、企画展 ・お正月あそび大会・凧展 ・上小地域小中学校児童生徒作品展（絵画・書道・立体作品）
コミュニティー育成事業	昔からなじみのあるものや、最新の技術によるものなど、身近なもので手軽にできるものづくりを楽しみながら、次世代に伝えていくためのコミュニティー活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・切絵・折り紙教室等 ・文化団体作品発表展示会 ・ふしぎ・なるほど・おもしろサイエンス ・星空コンサート ・昔話語りの会
科学少年団等人材育成事業	上田創造館の特色を生かした科学・天文分野の人材育成等を目指した事業	<ul style="list-style-type: none"> ・科学少年団 ・大人の科学体験クラブ ・子どもは天才講座 ・ボランティア育成支援等

イ ソフト事業参加者数

【人】

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
参加者数	51,364	46,025	50,449	49,125	42,354	45,572

4 上田創造館管理運営ビジョン

上田創造館における将来的な施設のあり方や改修計画等を明確にするため、次の2つのテーマを柱として「上田創造館管理運営ビジョン」を策定します。なお、このビジョンは平成28年度から10年先を見越した計画とし、毎年、見直しを行います。

I 「地域の科学館」

時代を担う子供達に科学に対する興味や関心・理解を深めてもらい、将来の上田地域を担う人材を育成するため、科学に特化した事業展開を図り、誰もが手軽に科学に触れる機会を持つことができる「地域の科学館」を目指します。

II 「交流・研修施設の充実」

これまでの施設利用の実績を踏まえ、交流やコミュニティー活動、各種会議研修での利用を促進するため、交流・研修施設の充実を図り、地域住民や各種団体の交流や研修の場を提供します。

5 管理運営ビジョンの個別計画

前項4で掲げた2つのテーマを実現するため、次の30項目の個別計画を実施していきます。それぞれの計画は、短期（概ね3年先）、中期（概ね5～7年先）、長期（概ね10年先）に分類・整理して実施していきます。

上田創造館管理運営ビジョン 個別計画

項 目	方 針	分類
I 施設の将来的なあり方		
I-1 上田創造館の役割	1 地域住民が科学に親しみ、楽しく学べる「地域の科学館」として、施設機能の見直しや充実を図り、科学分野中心のソフト事業と連携させることで、科学振興事業の拠点施設とする。	短期
	2 次代を担う子供たちが、科学への興味や関心を持つきっかけづくり、また、人材育成のための施設を目指す。	短期
	3 地域住民が手軽に交流し、地域コミュニティ推進のための施設として、活用しやすい設備や機能の拡充を図る。	短期
I-2 文化センター	4 催事・講演会・会議等の利用を中心とした施設とする。	短期
	5 老朽化が進んでいる舞台装置は、最小限の改修とし機能を縮小する。	中期
I-3 美術館	6 美術館としての機能は廃止し、展示会や会議、体験会の使用を目的とした施設とする。	短期
	7 照明や内装等は利用目的に沿った改修を行っていく。	短期
I-4 視聴覚センター	8 視聴覚室（3階）は、視聴覚関連の機器を廃棄し、改修を行った上で学習及び研修を中心とした施設とする。	中期
	9 学習室（3階）は、図書館に附随する施設として現状のままとし、改修等は、他の施設の変動に併せて実施していく。	長期
	10 パソコン室（4階）は、科学実験などのソフト事業で使用。一部パソコンをノート型に更新した上で、学習室等で利用できるよう貸出方式にする。	中期
	11 スタジオ（4階）は、現状利用のほか、新たな有効活用の方法を検討する。	短期
I-5 図書室	12 上田市と共同運営を行ってきた経過から、今後も協議のうえ管理を行っていく。	短期
	13 上田市図書館との役割を明確化し、科学図書館として関連図書充実させる。	中期
I-6 民俗資料館	14 大幅なリニューアルを視野に入れながら、学校や関係団体から意見集約を行う。（一部、岩石・鉱物・化石展示室としてリニューアル実施済み。）	長期
I-7 児童科学館	15 4階フロア全体を「児童科学館」として整備し、展示物や体験型の備品によりフロアの一体感を出していく。	中期
	16 学校利用の増加や充実のほか、幼児や一般の学習利用を検討する。	短・中期
	17 館内中心施設であり、地域内唯一の施設であるプラネタリウムの役割の重要度を明確化し、投映機器及び番組の定期的な更新を図る。	中・長期

項目	方針	分類
Ⅱ ソフト事業		
Ⅱ-1 主催ソフト事業	18 地域の科学館に相応しいソフト事業の実施。	短期
	19 将来、科学の分野でスペシャリストとして活躍できる人材育成や事業実施を協働で行うグループの育成・支援。	長期
Ⅱ-2 学校学習支援事業	20 市町村教育委員会や学校長会との連携により、利用促進を図る。	短期
	21 より質の高いソフト事業の実施や幅広い年代層を対象とした事業を実施するための研究や職員体制整備の検討を行う。	中期
Ⅱ-3 プラネタリウム投映	22 身近な話題や地域の特色ある自主制作番組の制作。	短期
	23 広報紙等により利用者増加を図る。また、人気の高いプラネタリウム番組導入の検討を行う。	短期
Ⅱ-4 事業の内容検証	24 すべてのソフト事業において内容の検証や評価を行い、事業の拡充や改廃を行う。	短期
Ⅲ 管理運営		
Ⅲ-1 管理運営体制	25 上田創造館設置条例に準じ、引き続き指定管理制度により施設の管理運営を行う。	短・中期
	26 ソフト事業と施設維持管理を分割して運営する現状のメリットと課題の検証をし、施設全体の効率的で効果的な運営を行えるようにする。	短期
Ⅲ-2 管理運営費	27 施設改修に係る経費負担について、施設管理者（委託先）と所有者（上田地域広域連合）との間で分担ルールを明確化する。	短期
	28 施設使用料について、消費税増税や施設維持管理費、近隣施設の状況を考慮し見直しを行う。	短・中期
Ⅲ-3 駐車場	29 駐車場不足の課題に対し、利用者の実態調査により現状把握を行い、状況に応じて対処する。	短・中期
Ⅲ-4 計画的な施設改修	30 老朽化が進む中、施設管理者との協議により緊急性と費用対効果を考慮し、改修計画を作成し、実施する。	短・中期